

2022年度 公益財団法人柳井正財団 事業計画書

(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当財団は社会課題に独自の方法でアプローチし、人々が自立して、互いに尊重し合い、豊かな生活を送ることができる社会づくりに貢献することを目的とする。

1. 2022年度 公益目的事業の展開

- ① 公募型学校推薦方式については、今年度から学校教育法一条校のみを対象にした応募条件を撤廃し、インターナショナルスクールや海外の高校からも応募できる学校推薦に変更し、地方及び公立高校も含め更なる応募者の増加を促進させる。日本および海外在住の多くの高校生が奨学生に応募できる機会を提供する。
- ② 対面及びオンラインで奨学生説明会を開催し、地方や海外に在住する日本国籍を保持する高校生にも、当財団の奨学生を周知できる広報活動を実施する。
- ③ コロナ禍で実施出来なかった奨学生同士の対面イベントを開催し、アルムナイ組織の構築を検討すると共に、奨学生のコミュニティ活動の強化を図る。

(1) 奨学生の募集活動

【奨学生の募集活動スケジュール】

■ 公募型学校推薦方式

7月1日～8月15日	：応募書類受付（高校から応募）
6月1日～8月17日	：財団HP内応募システム受付（学生が応募）
8月18日～8月30日	：書類選考
9月3日・9月4日	：一次面接
9月19日・9月23日	：最終面接
9月24日～9月30日	：合否の通知

■ 一般公募方式

12月末頃～2月中旬（予定）	：財団HP内応募システム受付
1月末頃～3月下旬（予定）	：書類選考
4月上旬（予定）	：一次面接
4月中旬（予定）	：最終面接
4月下旬（予定）	：合否の通知

(2) 奨学生への奨学生の給付

【奨学生人数及び奨学生額】

	2022年度計画	奨学生支給人數 (千円)
現1期生	11,305	1人が1年分
現2期生	141,313	16人中9人が1年分、7人は半年分(半年後卒業)
現3期生	339,150	31人中30人が1年分、1人は今年度休学
現4期生	293,930	26人全員が1年分
現5期生	361,760	32人全員が1年分
現6期生	486,115	43人全員が1年分
(新)7期生	226,100	40名(2023年7月～)が半年分 ※予定
合計	1,859,673	

(3) 奨学金給付事業を補足する活動

- ・外部選考補助者派遣費用 9,000 千円
- ・選考委員への報酬(2回) 1,200 千円
- ・募集広報活動、イベント費用 9,500 千円

2. 2022 年度その他事業の展開について

(1) 留学希望者支援事業（留学フェローシップ）

- ① オンラインコンテンツを拡充し、日本全国の中高生が参加できる留学キャラバンを開催する。
- ② 中高生の海外大学進学の啓発活動で終わることがないように、エッセイ指導を強化し、トップ 60 大学への合格につなげる。

- 留学フェローシップ支援金額：20,000 千円（年間）

(2) 国際交流事業（Stanford e-Japan）

米国の社会や文化、日米関係について学ぶ機会を、関東以外の地方、公立高校の学生の参加拡大に努める。

- Stanford e-Japan 支援金額：13,000 千円（年間）

なお、2022 年度において設備投資及び資金調達の見込はない。

3. 2022 年度法人運営について

【法人運営の年間スケジュール】

- 理事会 : 2022 年 10 月（予定）

- ・事業報告、計算書類等の承認
 - ・評議員会の開催について
- : 2023 年 7 月（予定）
- ・事業計画書および収支予算案などの決議
 - ・代表理事の職務執行報告

- 評議員会 : 2022 年 11 月 16 日（水）

- ・事業報告、計算書類等の承認
- ・理事、監事改選の選任

以上